

背景

- ・E-Bikeによるサイクルツーリズムや自転車の活用が全国で推進されている。
- ・富士山のあるまちでありながら、観光収入が他地域に比べ少ない。
- ・オリンピックの開催もあり、静岡県全体が自転車を活用した地域活性に積極的。
- ・地域密着型プロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」が拠点事務所を富士市にて活動。

現状の課題

- ・坂が多い地形のため、これまで、自転車の利活用が進んでいない。
- ・自動車依存度が高く、二次交通の利用も減少している。
- ・富士山の他に、目玉となるコンテンツに乏しく、市の認知度が低い。
- ・交通の要衝に位置し、ゲートウェイ機能は高いが、観光客の市内での滞留が少ない。

事業の目的

- ・市民の自転車活用を促進する。
- ・スポーツサイクルイベントによるまちの賑わいを創出する。
- ・自転車を活用したシティプロモーション。
- ・富士山サイクルロードレース大会を全国規模の大会に発展させる。



これまでの取組

- ・自転車活用推進計画を令和3年10月に策定。
- ・富士市サイクルステーション「ふじクル」を令和3年11月にオープン。
- ・令和4年3月に「富士山サイクルロードレース」を初開催。
- ・令和5年3月に第2回大会を開催。
- ・レバンテフジ静岡と連携した、自転車の普及啓発の実施。



富士市・人が集まり、地域が繋がる自転車活用事業

事業 内容

自転車による地域活性化

- ・市内での国内トップカテゴリーレース開催による賑わい創出
- ・自転車利用人口の増加とサイクリストの裾野拡大
- ・サイクルツーリズムによる地域経済循環
- ・滞在型観光の促進
- ・自転車と人、車の共存と交通事故防止
- ・自転車活用によるSDGsの推進 など



成果・目標

富士市が自転車のまちとして賑わう

- ・定期的な自転車レースの開催
- ・サイクルステーション来場者の増加
- ・レンタサイクル利用者の増加
- ・観光来訪者の増加
- ・市内飲食店の売上増加
- ・宿泊観光客の増加
- ・通勤時間帯の渋滞緩和
- ・関係人口、交流人口の増加

得られる 成果等

企業に求めるもの

- ・企業版ふるさと納税でのご寄附だけでなく、自転車活用事業に直接ご参加いただき、企業様と一緒に事業を推進していきたいと考えています。

企業のメリット

- ・自転車による地域のにぎわい創出事業を企業版ふるさと納税により支援いただくことで、企業の皆様が取り組むCSR活動を多くの市民や来訪者に知ってもらう機会となり、企業としてイメージアップやPR効果が高くなります。